



広報 びらとり

9
2014

No. 638
月号

一人ひとりがまちづくりの主役です 輝くびらとり未来につなごう

第45回チブサンケ (8/24)



特集	日常生活圏域高齢者ニーズ調査結果	P2
	平成 26 年度 高齢者番付	P8
	食育だより	P9
	まちのひろば	P10
	教育委員会からのお知らせ	P12
	すこやかだより	P16
	図書館へ行こう	P17

日常生活圏域高齢者ニーズ調査結果

平取町では、平成 26 年度に「平取町高齢者保健福祉計画・第 6 期介護保険事業計画」の策定にあたり、今年 4 月から 5 月にかけて高齢者保健福祉および介護保険事業に関するアンケート調査を実施しました。

その結果（概要）について報告します。なお、今回の調査結果を基礎資料として活用し、計画策定に反映していきたいと考えています。

（調査結果書は町ホームページに掲載しています。）

調査の対象者

調査対象者は、平成 26 年 4 月 1 日現在 65 歳以上で、長期入院の方や介護施設等に入所されている方などを除く平取町に住所を有する方全員としました。

調査方法	対象者数	回答者数	回収率
合計	1,590 人	1,036 人	65.16 %
郵送による調査	1,378 人	859 人	62.34 %
民生委員、施設等への訪問調査依頼	109 人	93 人	85.32 %
保健福祉課対応	103 人	84 人	81.55 %

※平成 26 年 4 月 1 日現在高齢者（65 歳以上）数 1,715 人

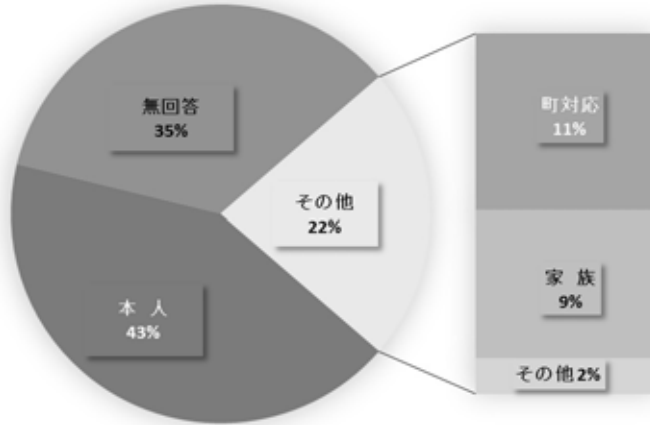
※調査対象除外者数 125 人

※調査（アンケート回収）期間 4 月 1 日～5 月 31 日

		平成20年4月末	平成23年4月末	平成26年4月末	平成37年推計
全体人口	男性	2,856 人	2,697 人	2,703 人	2,104 人
	女性	3,028 人	2,907 人	2,834 人	2,259 人
	全体	5,884 人	5,604 人	5,537 人	4,363 人
高齢者人口	男性	694 人	707 人	730 人	678 人
	女性	931 人	961 人	986 人	942 人
	全体	1,625 人	1,668 人	1,716 人	1,620 人
高齢化率		27.62 %	29.76 %	30.99 %	37.13 %
認定者数	要支援	69 人	71 人	94 人	125 人
	要介護	179 人	191 人	191 人	238 人
	全体	248 人	262 人	285 人	364 人
介護認定出現率		15.26 %	15.71 %	16.61 %	22.45 %

※平成 37 年推計は国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成 25（2013）年 3 月推計）」による

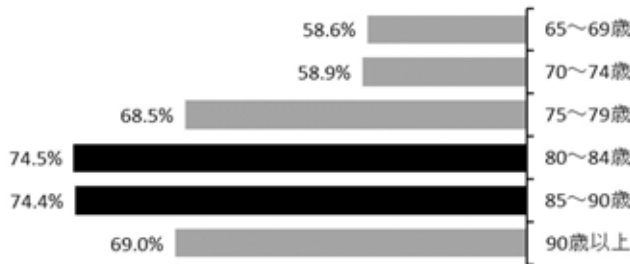
【回答者の基本属性】



● 記入者

対象者全体の43%が調査対象者本人の記載で、約9%が家族によるものでした。

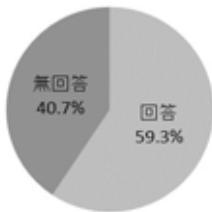
残り約2%はその他の人による記載、または記載者未記入等です。



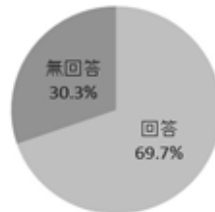
● 年齢

80～84歳、85～90歳の方が74%と回答が一番多くなっています。65～69歳、70～74歳では、58%と他の年齢層からみると回答率は若干少ない結果となっています。

男性



女性



● 性別

男女ともに50%以上の方が回答されており、若干女性の方が回答が多い結果となりました。

【家族や生活状況】



● 家族構成は？

全体の3割が「一人暮らし」、「家族と同居されている」方は7割強でそのうちの約6割が配偶者との2人暮らしとなっています。

地区	回答者数	一人暮らし (%)	一人暮らし (人数)
川向	15	26.7	4
紫雲古津	80	13.8	11
去場	35	22.9	8
荷菜	144	25.0	36
本町	292	36.3	106
小平	24	8.3	2
二風谷	51	37.3	19
荷負	39	43.6	17
貫気別	88	28.4	25
旭	15	33.3	5
芽生	7	42.9	3
長知内	18	38.9	7
幌毛志	11	27.3	3
振内町	186	36.0	67
岩知志	28	39.3	11
豊糠	3	33.3	1

● 地区別

地区別では紫雲古津、小平以外の14地区では回答者の2～4割が一人暮らしという結果となり、地区によって差がみられる結果となりました。

現在収入のある仕事をされている方は2割強で、現在の暮らしの状況に経済的な苦しさを感じている人は、6割弱を占めています。

収入のある仕事

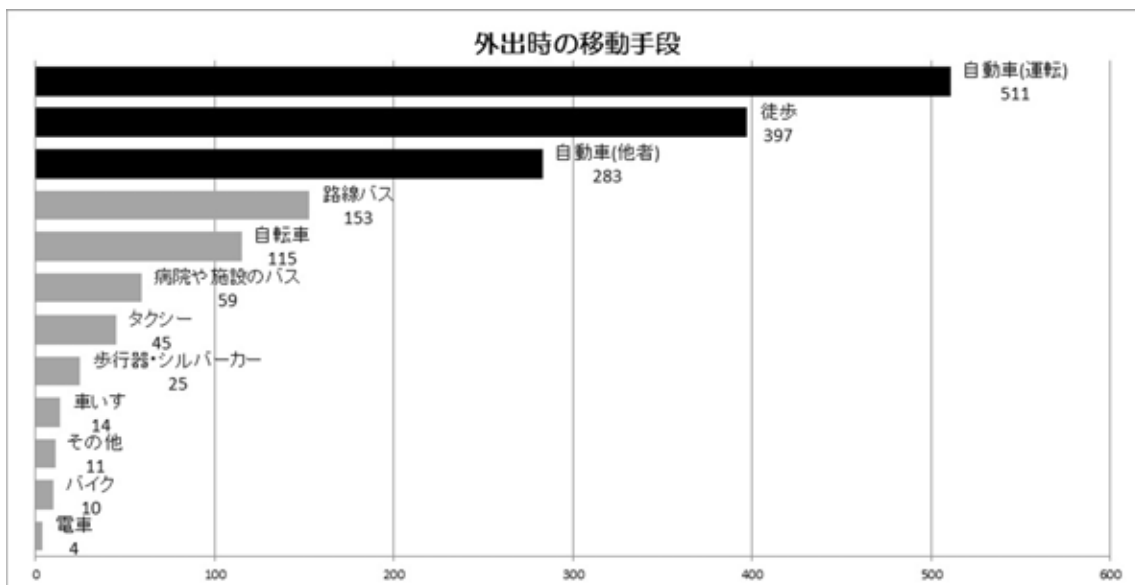


現在の暮らしの経済的状況



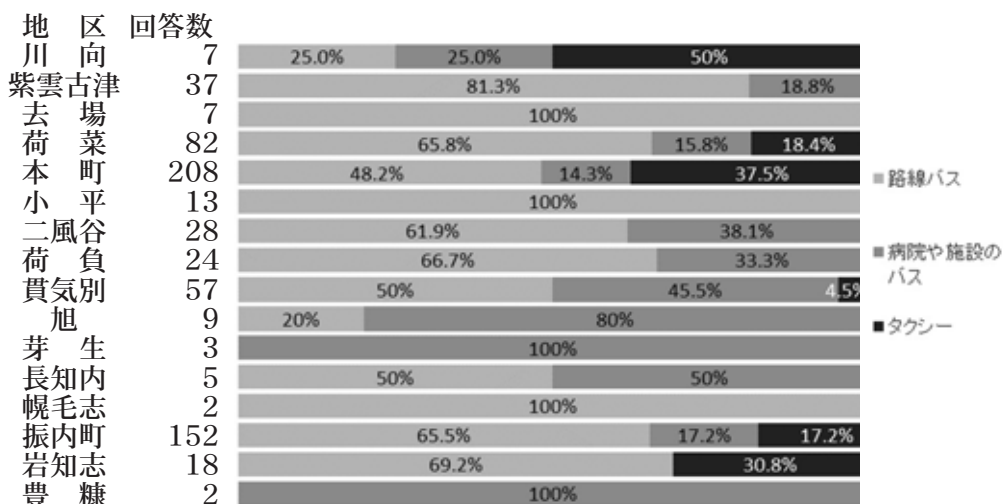
【運動・閉じこもり】

外出する際の移動手段は、「自動車（運転・他者）」、「徒歩」が突出して多く、ほとんどの方が3つのどれかを利用しており、次に路線バスも多くの方利用されているようです。

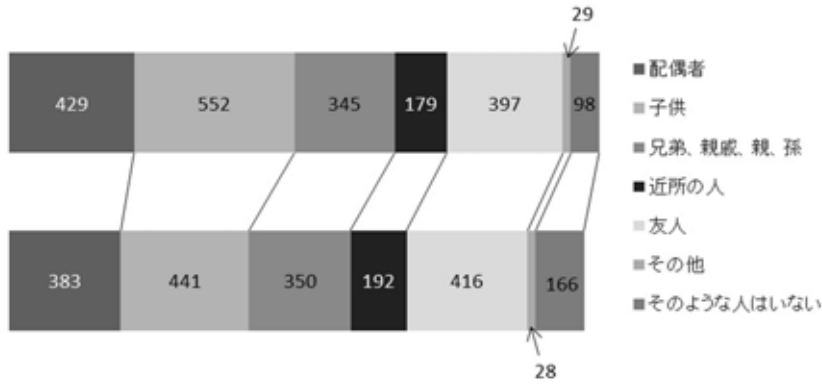


地区別 外出時の移動手段 【公共交通機関の利用】

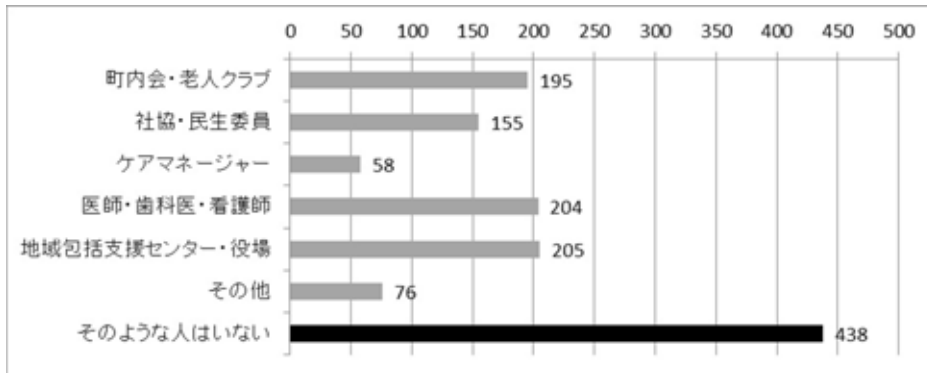
地区別でも自動車での移動が最も多い結果となっていますが、公共交通機関の利用のみをみると、多くの地区で「路線バス」の利用があり、去場、小平、幌毛志では、利用者の100%。「病院や施設のバス」は芽生、豊糠で100%。「タクシー」は、川向、荷菜、本町、貫気別、振内、岩知志で利用があり、川向では50%となっています。



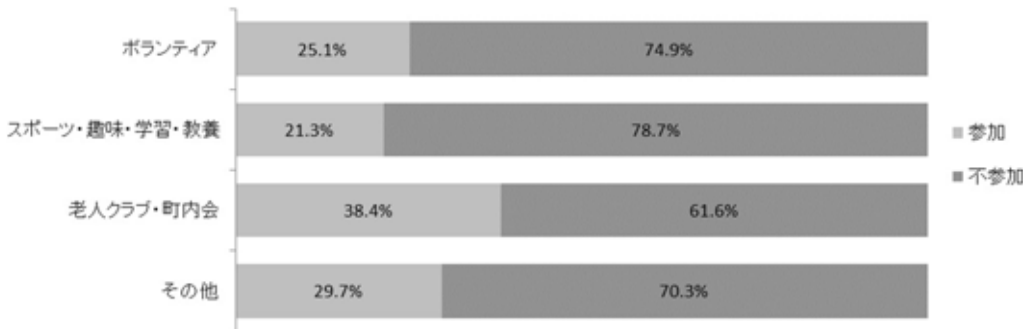
【社会参加】



困った事柄などを聞いてもらおう・聞く相手としては、「配偶者」や「子供」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」など身近な家族や友人が上位を占めています。
 そのうち、子供に相談する方と比べて、子供から相談されている方は少ないという結果となりました。

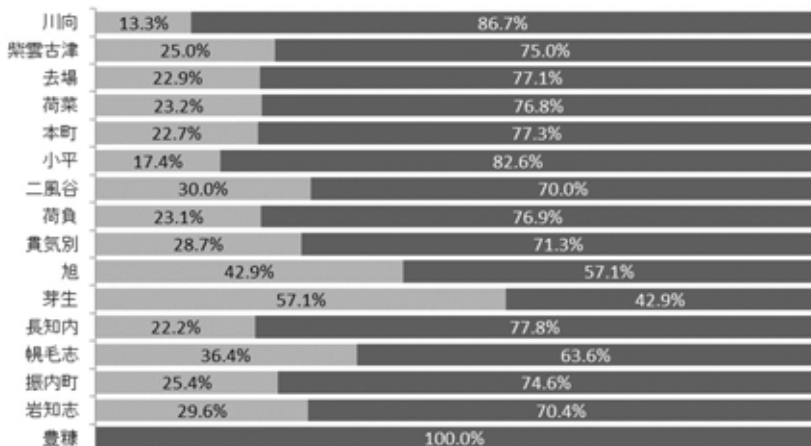
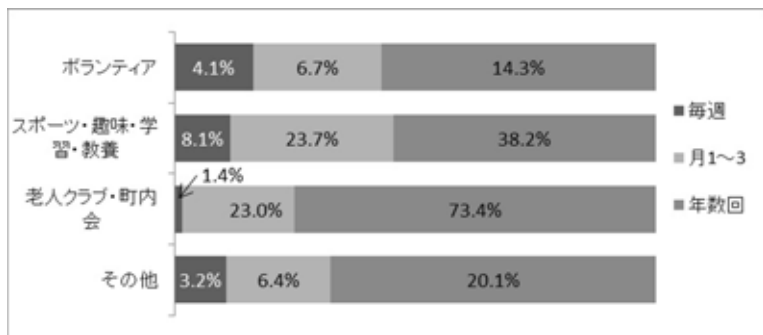


家族や友人以外で相談する相手としては、回答者全体の半数近くの人が「そのような人はいない」と回答しています。次いで、「地域包括支援センター・役場」、「医師・歯科医・看護師」となっています。



地域活動に参加していない人が多くの項目で約7割以上と多い結果となっていますが、「老人クラブ・町内会活動」では不参加は6割にとどまり、半数近くの方が参加されています。

参加の頻度は？



※地区別でのボランティアの参加

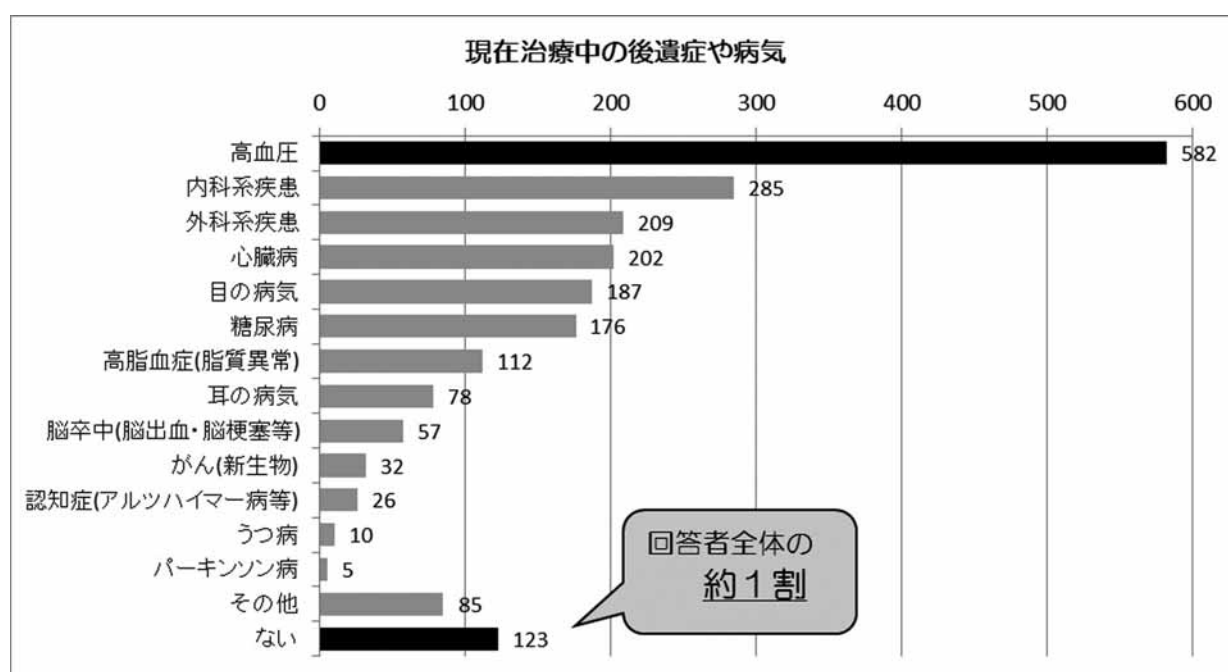
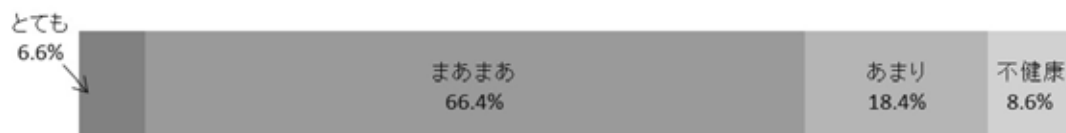
多くの地区では7割以上がボランティアに不参加となっており、芽生、旭では4割以上が参加していると回答があり、地区別で差がみられました。

【健康】

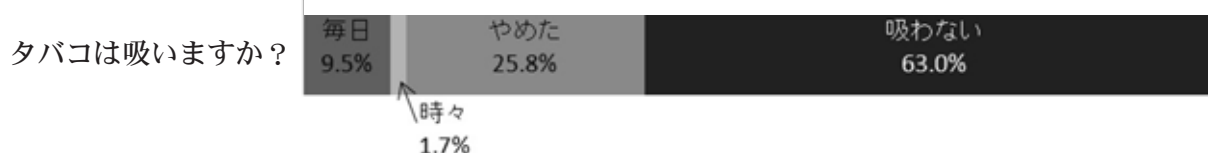
自分の健康状態が「良好」だと感じている方は約7割を占めるものの、「現在治療中の後遺症や病気」がないと回答された方は全体の約1割程度と少なく、「通院している」、「薬を飲んでいる」も約9割と多くの方が何らかの治療をされているということがわかりました。

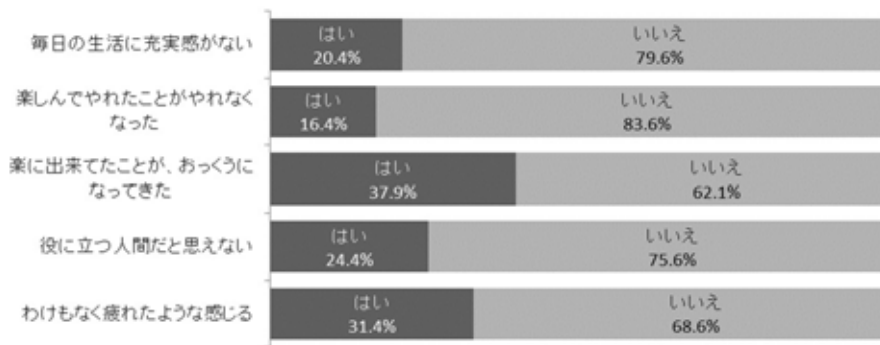
また薬については、「5種類以上ある」方が約4割と多い結果となりました。治療中の病気としては、高血圧が圧倒的に多く、内科系（肝臓や腎臓など）、外科系（骨折など）や心臓病が多くなっています。

自身の健康状態について



飲酒習慣は4割、喫煙習慣は1割弱となっており、半数以上が飲酒・喫煙習慣はないという結果となりました。また、飲酒習慣がある方は、毎日時々もほぼ同じ割合となっています。



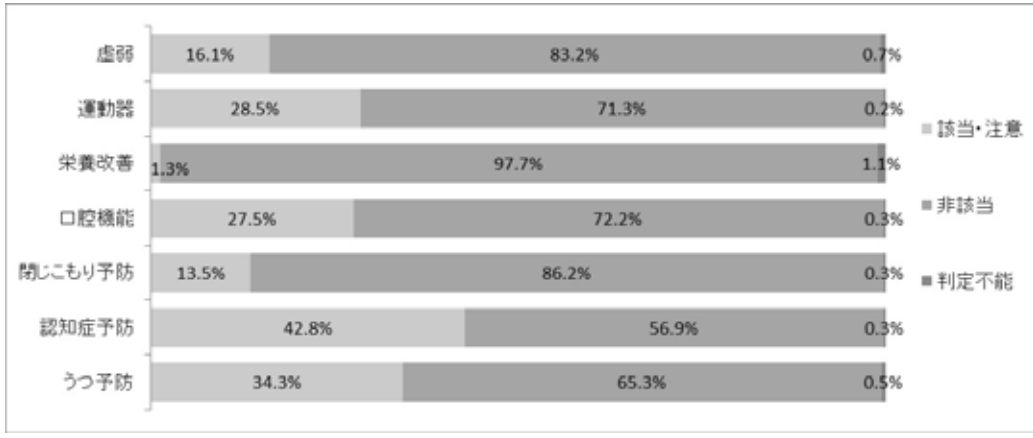


ここ2週間の状況に関しては、多くの方が各項目の状態を感じることはなく、元気に過ごされているという結果となりました。「楽にできていたことが今ではあっけうに感じられる」、「わけもなく疲れたような感じがする」と回答した人が3割以上と他の項目と比較して多くなっています。

【二次予防対象高齢者】

二次予防対象高齢者とは、厚生労働省の「地域支援事業実施要項」に基づく基本チェックリスト（日常生活動作や健康状態、認知機能などチェック項目）を通じて、要支援・要介護になるおそれがあると判断された方を言います。

今回の調査の回答を分析した結果、455人が二次予防対象高齢者に該当となり、そのうち現在要介護認定をうけている方が118人含まれていました。介護認定者以外の該当の方は早期に対応が必要という方です。 ※総回答数 1,036人、該当 455人、非該当 577人、判定不能 4人



まとめ

今回の調査では、多くの方が介護や介助の必要はないという回答をされており、何かしらの病気をもちながらも元気に過ごされていることがうかがえました。その一方で全体の4割が二次予防対象高齢者に該当しており、内訳では「認知症予防の必要あり」が最も多くなっています。さらに、全体の4割に「転倒リスクあり」の結果から、介護を受けないために注意をしていくことが必要という結果となりました。

今回の調査結果は、65歳以上の方々の日常生活の状態やニーズを把握し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるための支援・サービス提供体制を検討する参考資料とさせていただきます。